



2017年3月期 第2四半期決算説明会

富士機械製造株式会社

2016年11月

※本資料における業績予想、見通し、計画等は、現時点における事業環境での入手可能な情報に基づき、当社の経営者が合理的と判断したもので、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は様々な要因により大きく異なることがありますことをご承知おきください。

2016年度第2四半期実績

(百万円)

	15年4-9月 実績	16年4-9月 実績	対前年同期 増減	16年4-9月 期初予想	対期初予想 増減
受注高	44,397	44,375	▲22 ▲0.04%	45,000	▲625
売上高	45,284	42,404	▲2,880 ▲6.4%	45,000	▲2,596
営業利益	6,914	4,890	▲2,024 ▲29.3%	5,700	▲810
経常利益	7,268	4,679	▲2,589 ▲35.6%	5,900	▲1,221
当期純利益	4,922	3,264	▲1,658 ▲33.7%	4,100	▲836
* 退職給付計算における数理計算上の差異の一括費用処理による営業利益への対前期比影響額が約7.5億円ありました。通期で約14.9億円を見込んでおります。					(円)
1株当たり 当期純利益	50.35	34.59	▲15.76	42.65	▲8.06
1株当たり 配当金	14.00	15.00	+1.00	15.00	0

営業利益増減分析

(単位：百万円)

コストダウン、
生産改革等
による原価改善

+ 430

▲ 654

固定費の増加等
による利益減

▲ 1,014

売価下落
による売上減

▲ 281

為替の影響
による売上減

▲ 505

販売数量減少
による利益減

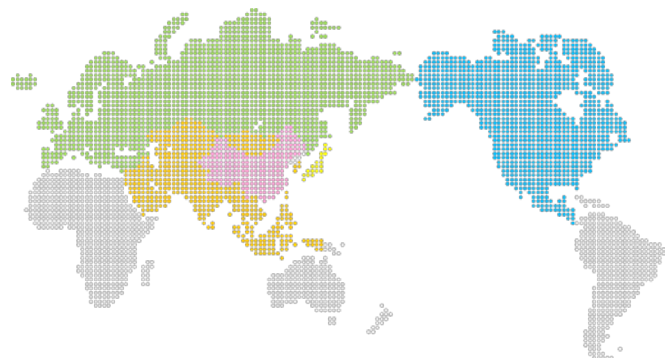
2015年
4-9月
営業利益
6,914

2016年
4-9月
営業利益
4,890

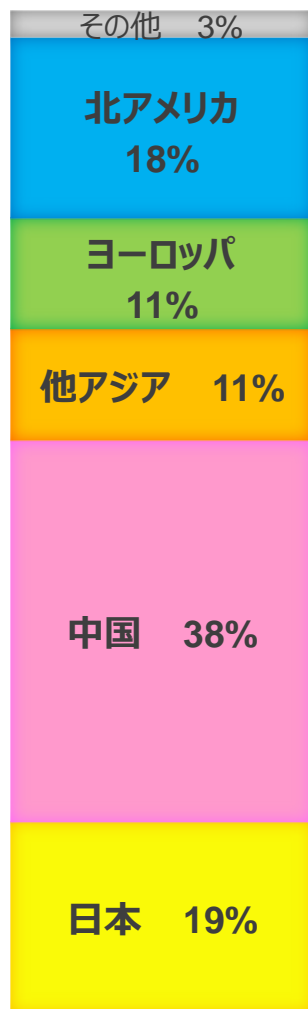
売上高
45,284

売上高
42,404

地域別売上高

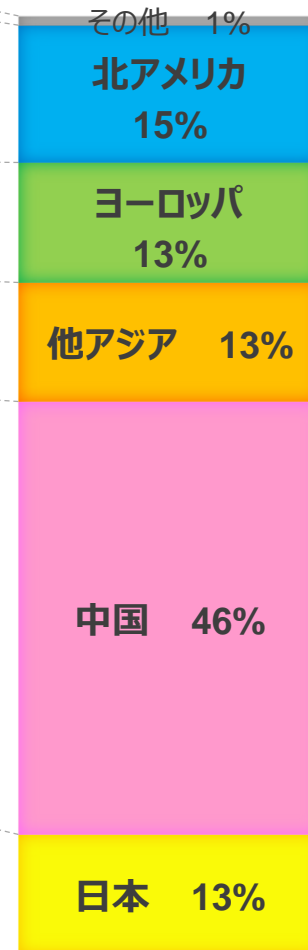


453億円



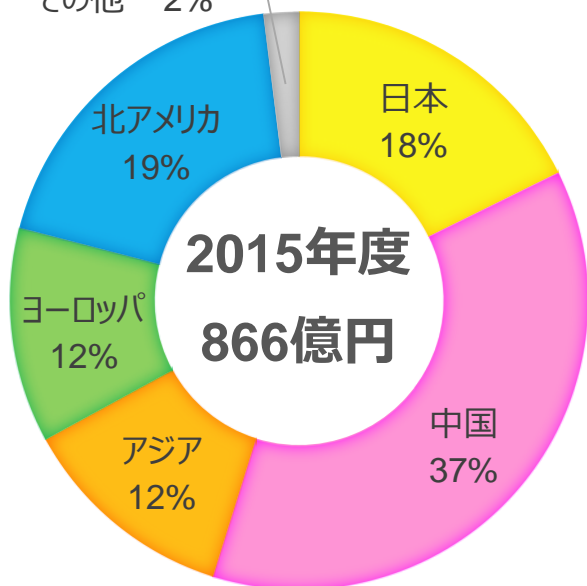
2015.4-9

424億円



2016.4-9

その他 2%



2015年度
866億円

セグメント別実績

(百万円)

ロボットソリューション	15年4-9月実績	16年4-9月実績	対前年同期増減	16年4-9月期初予想	対期初予想増減
受注高	36,111	38,650	2,539	37,000	1,650
売上高	37,403	36,879	▲524	37,000	▲121
営業利益	8,167	7,309	▲858	-	-
受注残高	10,396	11,082	686	-	-

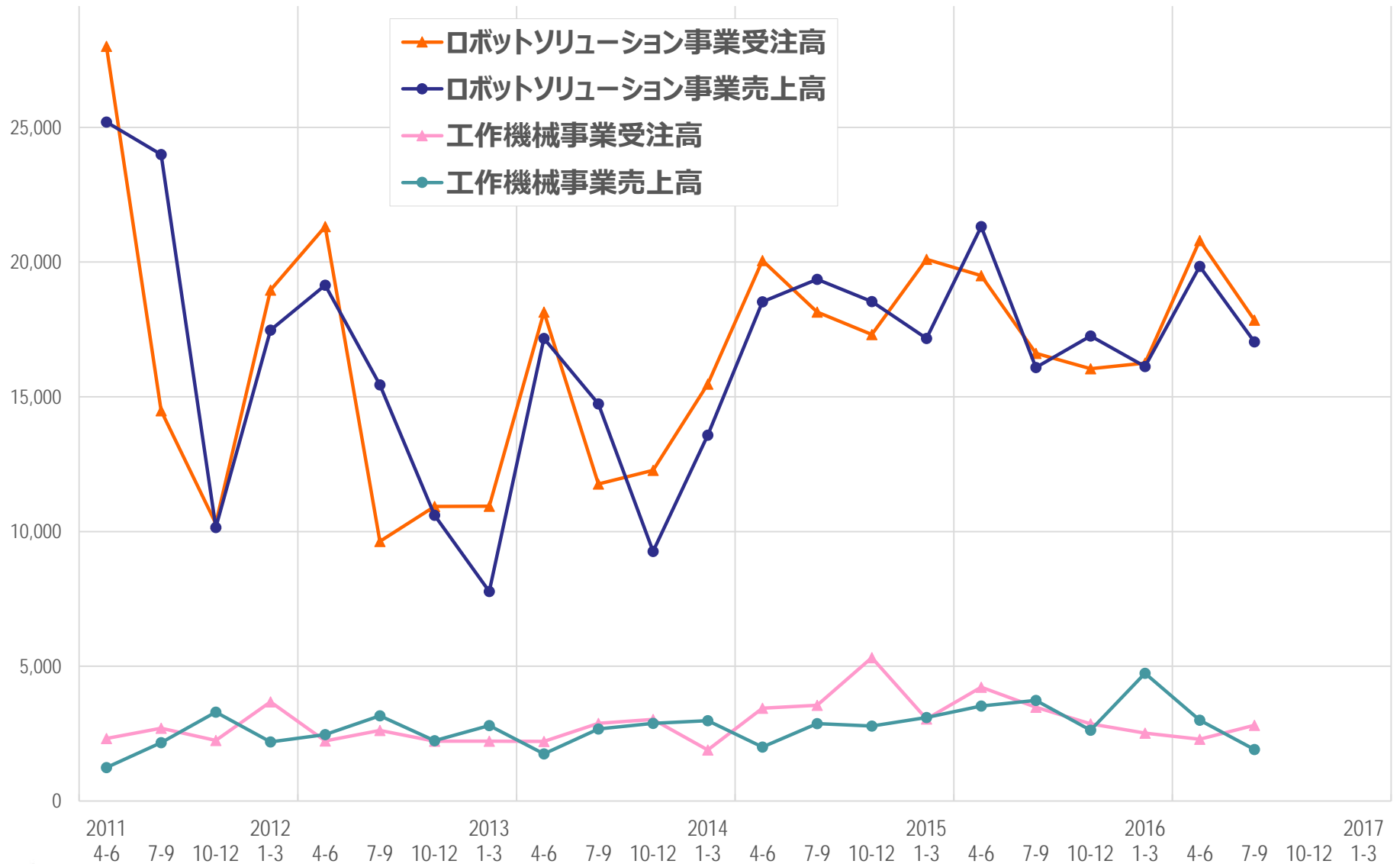
報告セグメント名称を「電子部品組立機」から「ロボットソリューション」に変更しています

(百万円)

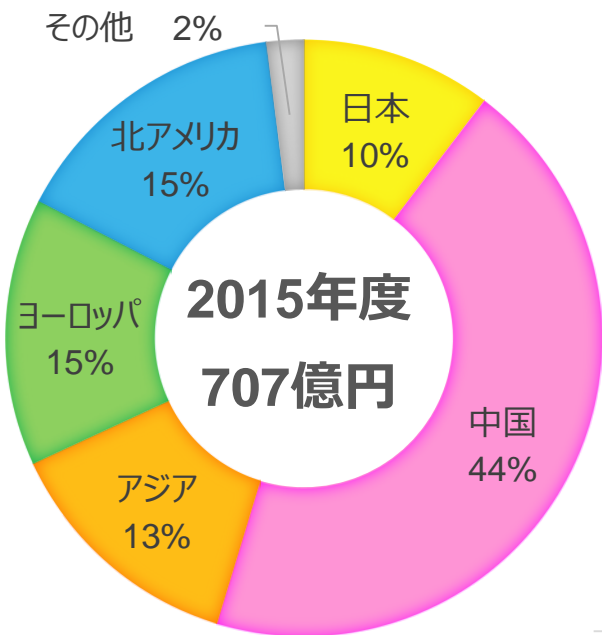
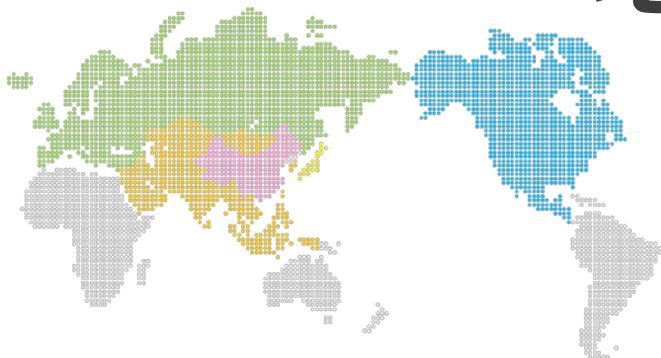
工作機械	15年4-9月実績	16年4-9月実績	対前年同期増減	16年4-9月期初予想	対期初予想増減
受注高	7,702	5,099	▲2,603	7,000	▲1,901
売上高	7,255	4,907	▲2,348	7,000	▲2,093
営業利益	275	▲416	▲691	-	-
受注残高	8,864	7,067	▲1,797	-	-

四半期別受注高・売上高

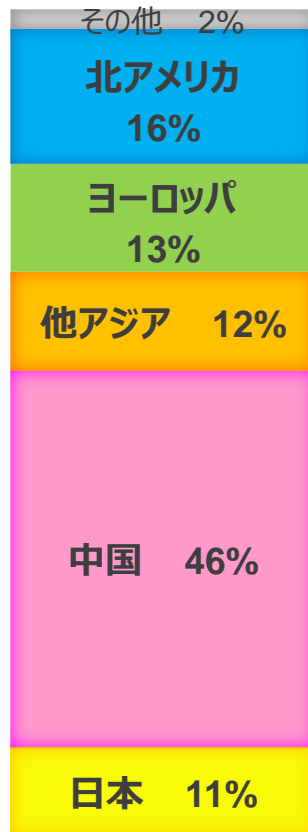
(単位：百万円)



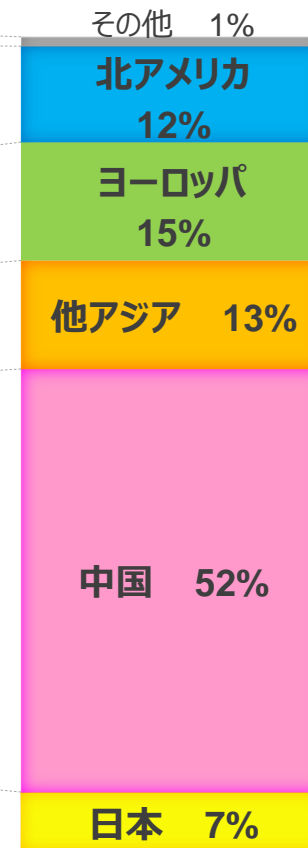
ロボットソリューション事業 地域別売上高



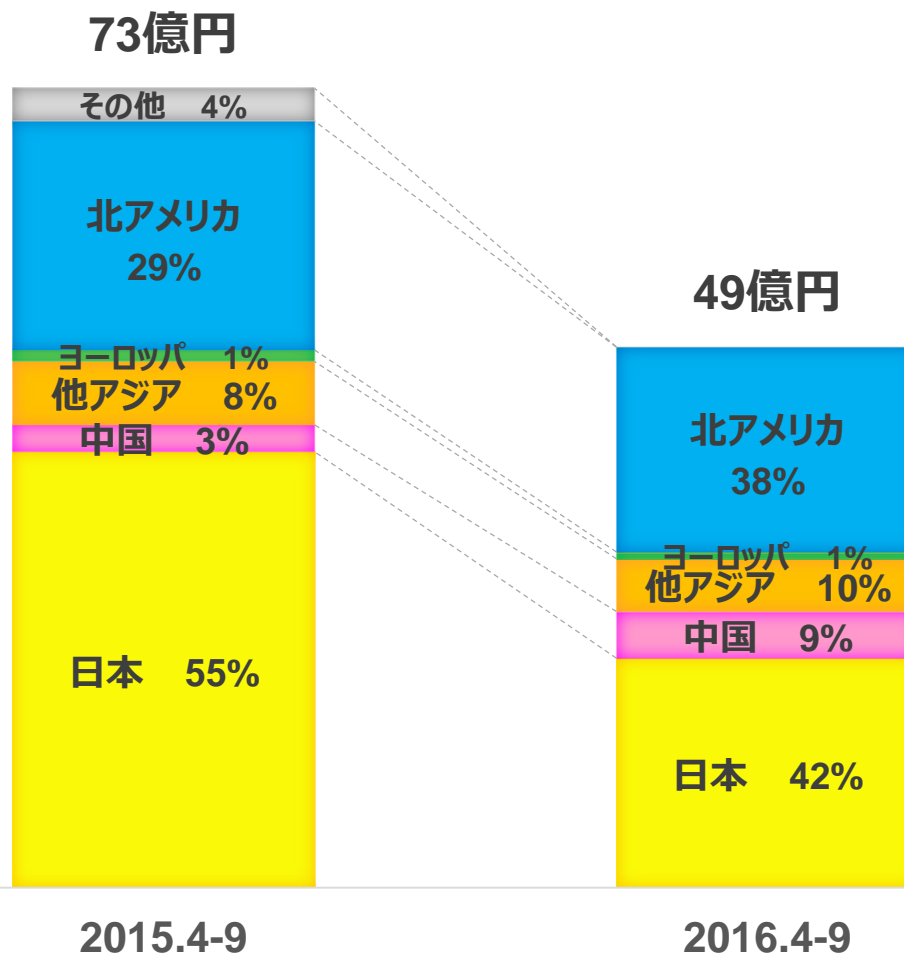
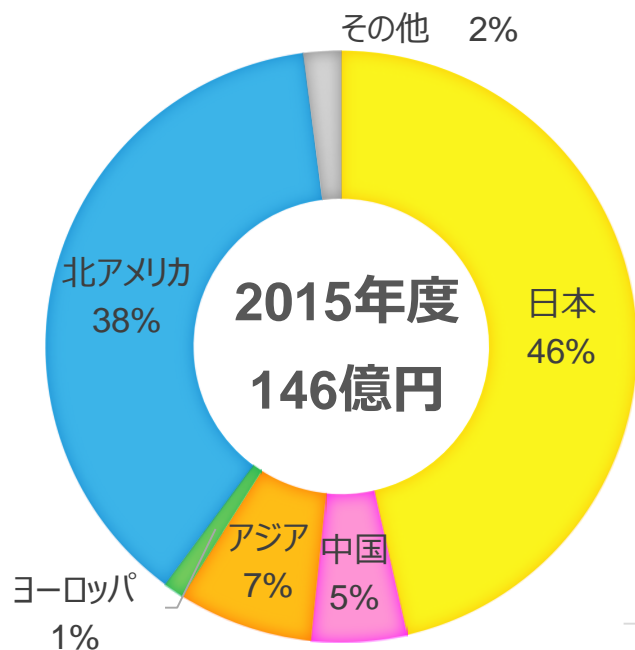
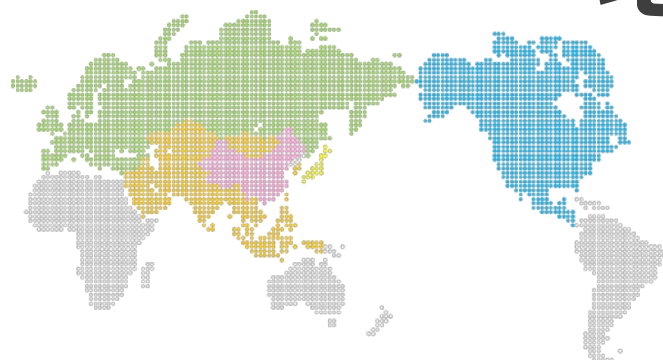
374億円



369億円



工作機械事業 地域別売上高



2016年度通期業績予想

- 2016年5月12日公表の従来予想からの変更あり (百万円)

	15.4-16.3 実績	16.4-17.3 期初予想 (5月12日)	16.4-17.3 修正予想 (11月10日)	対前期増減 (11月予想)	対期初予想 増減 (5月比)
売上高	86,642	87,000	84,000	▲2,641	▲3,000
営業利益	11,901	10,000	8,200	▲3,701	▲1,800
営業利益率	13.7%	11.5%	9.8%	▲3.9pt	▲1.7pt
経常利益	11,991	10,300	8,200	▲3,791	▲2,100
当期純利益	7,237	7,300	6,000	▲1,237	▲1,300

(円)

1株当たり 当期純利益	74.13	75.94	63.56	▲10.57	▲12.38
1株当たり 配当金	28.00	30.00予定	30.00予定	+2.00	±0

セグメント別受注・売上予想

- 2016年5月12日公表の従来予想からの変更あり (百万円)

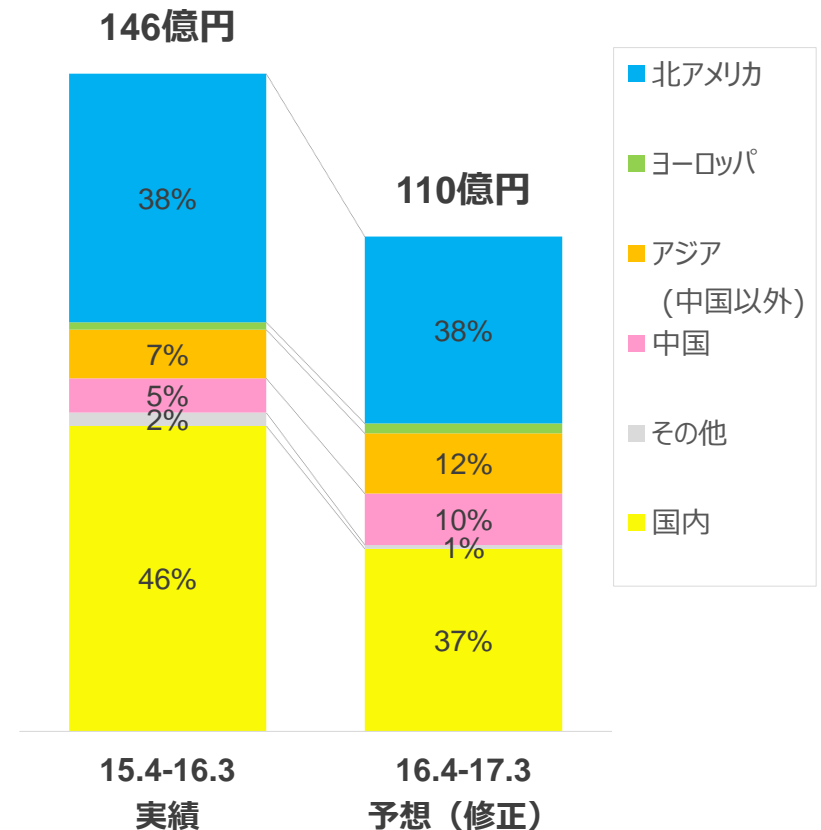
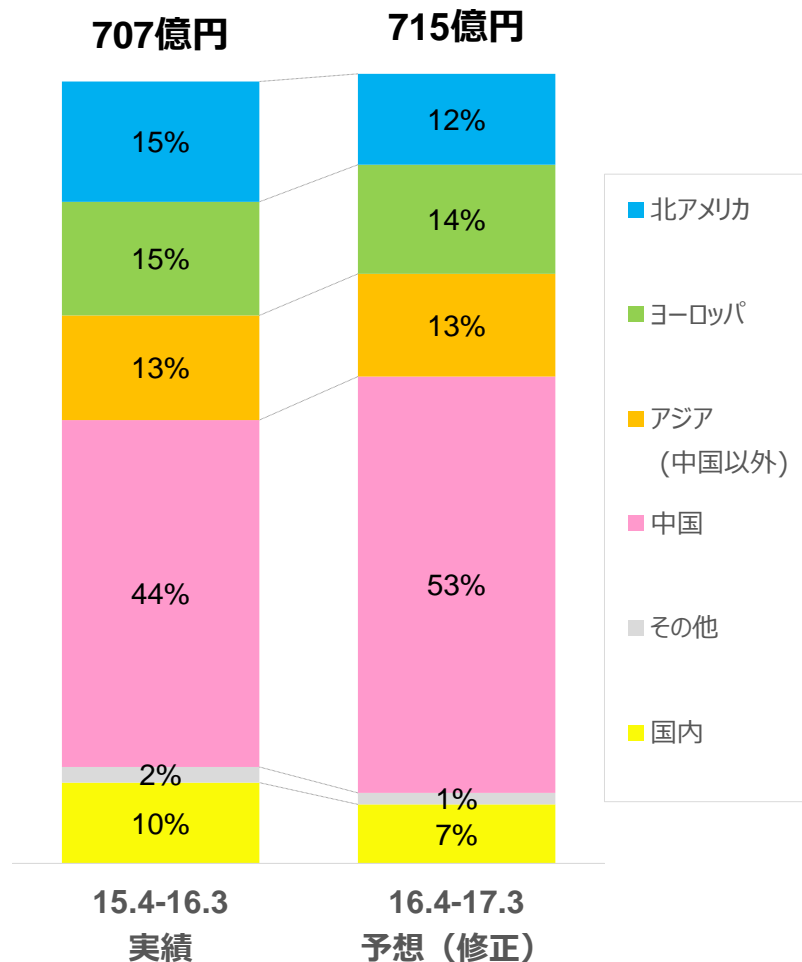
	受注高			売上高		
	15.4-16.3 実績	16.4-17.3 予想	対前期 増減	15.4-16.3 実績	16.4-17.3 予想	対前期 増減
		(従来予想)	(予想増減)		(従来予想)	(予想増減)
ロボットソリューション	68,408	73,000	+4,592	70,786	71,500	+714
		72,500	+500		71,000	+500
工作機械	13,080	11,500	▲1,580	14,623	11,000	▲3,623
		14,500	▲3,000		14,000	▲3,000
その他	1,162	1,500	+338	1,232	1,500	+268
		2,000	▲500		2,000	▲500
合計	82,651	86,000	+3,350	86,642	84,000	▲2,641
		89,000	▲3,000		87,000	▲3,000

報告セグメント名称を「電子部品組立機」から「ロボットソリューション」に変更しています

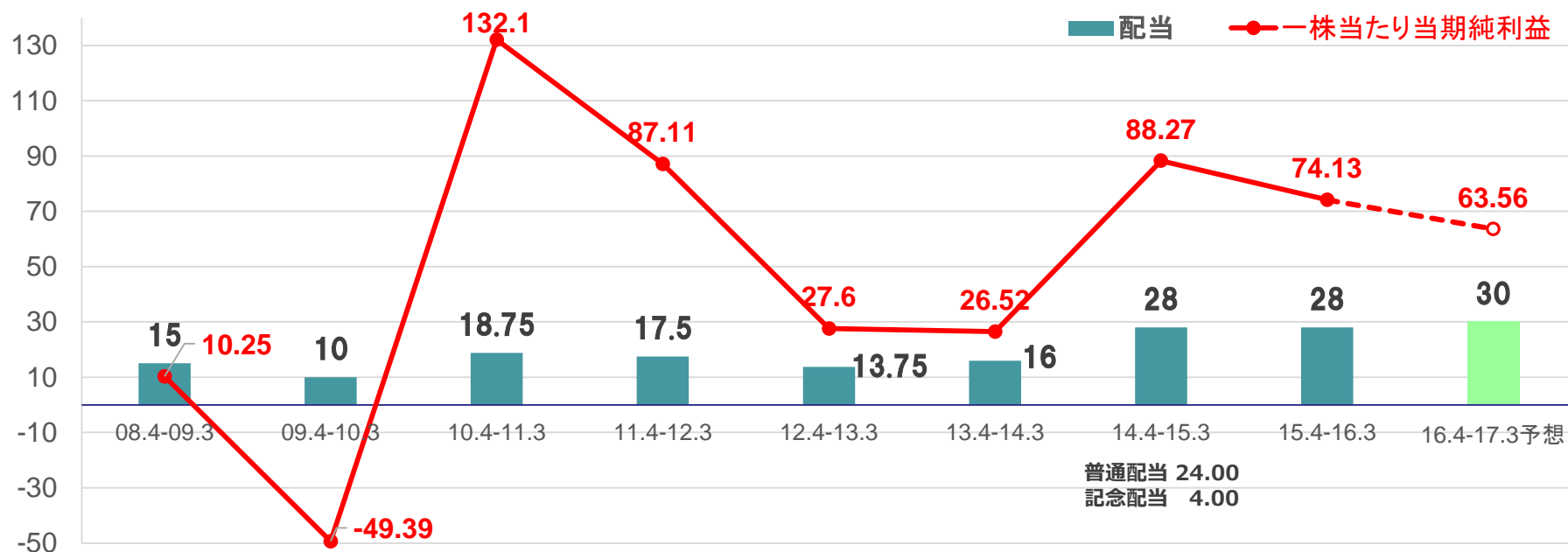
地域別売上高予想

ロボットソリューション

工作機械



1株当たり当期純利益・1株当たり年間配当金



	08.4-09.3	09.4-10.3	10.4-11.3	11.4-12.3	12.4-13.3	13.4-14.3	14.4-15.3	15.4-16.3	16.4-17.3 予想
配当性向	146.3%	△20.2%	14.2%	20.1%	49.8%	60.3% (45.2%)	31.7% (27.2%)	37.8%	47.2%

注:2013年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。

上記では当該株式分割が2009年3月期の期初に行われたと仮定して算出しております。

() 普通配当の配当性向

自己株式の取得について

2016年3月10日～2017年2月28日の期間で上限9,000,000株を予定（発行済株式総数*に対する割合9.21%）*自己株式を除く

2016年10月31日までに取得した株式の総数：5,805,300株（参考：9月30日までに4,822,200株取得）

ロボットソリューション事業

事業部方針

『ネクストステップ30』～真のNo.1ブランドの確立～

事業環境

■マクロ経済

- ◆ 米国は景況感改善も設備投資は弱含み
- ◆ 欧州は企業マインドが改善されつつあるが一進一退
- ◆ 中国は減速感残るも製造業への投資改善の動き
- ◆ 日本国内、円高の影響により、設備投資に慎重な姿勢

■マウンター需要

- ◆ 市場規模：2015年度 約2,200億円(上期1,300億円、下期900億円)
2016年度 約2,100億円(上期1,100億円、下期1,000億円)予想
- ◆ 展 望 :中国および新興国中心に底堅く推移
業界内提携の加速(トータルソリューション需要の増加)
通信端末中国ローカルブランドのさらなる台頭
IoT加速の予兆
自動車の電子化推進(燃費軽減、安全対策、情報処理…)

ロボットソリューション事業

事業戦略

『お客様第一主義に基づく需要の創出』

営業

- ◆ 成長市場(車載、スマート機器関連)顧客の獲得
- ◆ SMT前後工程市場の攻略
- ◆ 顧客満足度の高い提案型営業、サービス力の更なる向上

開発

- ◆ Neximの進化によるSmart Factory具現化
- ◆ 既存製品の競争力向上
- ◆ より効率的な研究開発

生産

- ◆ 工場内リードタイム短縮、スペース効率化による生産の最大化
- ◆ サプライチェーン改革によるQCD向上
- ◆ フレキシブルな生産体制構築に向けた工場内IoT推進

ロボットソリューション事業 主要製品

NXT-H



高精度生産に対応

NXT
Fuji Scalable Placement Platform



AIMEX III
AIMEX III C



変種変量生産に対応

電子部品実装ロボット

電子部品装着機

スマートファクトリーを
実現するキーシステム

Nexim

統合生産システム



汎用組立機

Smart FAB

報告セグメント名称を「電子部品組立機」から変更しています

工作機械事業

事業部方針

『Challenge 200』

事業環境

- 急速な円高進行をはじめ、市場環境の変化により
年初の受注目標1兆5,500億円を下方修正。(日工会)
- ◆2015年(暦年)受注実績:1兆4,800億円
- ◆2016年(暦年)受注目標:1兆3,000億円
- ◆市場全体において潜在需要はあり、緩やかな伸びを期待

事業戦略

『構造改革による利益体制の構築』

営業

- ◆DLFnの拡販
- ◆海外展開の拡大、商社との連携強化

開発

- ◆DLFnシリーズの充実
- ◆既存商品の強化と新技術(IoT等)活用

生産・ 機械加工

- ◆DLFn生産体制の確立
- ◆リードタイム半減、短納期対応

工作機械事業 主要製品



CSD300

正面2スピンドル旋盤



TN400R

横型NC旋盤



DLFn

モジュール型生産設備

FUJIIの革新的なロボット技術

スマートファクトリー

平成28年度 全国発明表彰
文部科学大臣賞 受賞

ミニチュアファクトリー



高精度・高生産性



革新的なロボット技術の展開

小型モジュール式電子部品実装装置の発明

第6回 ロボット大賞



高精度・高生産性・低衝撃

自動化技術

画像処理

IoT装置
情報の収集

トレーサ
ビリティ

自動段取

高速・高精度
サーボ制御

成長戦略

電子部品実装ロボット (ロボティックマウンター)

工作機械 (ロボット自動搬送システム)

ロボットメーカー
としての
躍進

ロボット技術で新しい価値を創造

効率的な資金活用による迅速な施策実現

販売力
強化

研究開発

ものづくりアライアンス

M&A

資本参加

コアテクノロジー

ソフトウェア

リニアモーター
等自社開発

解析技術

製造技術

ロボット開発を支える
FUJI Robo Components

商品化
外販

生産の
自動化

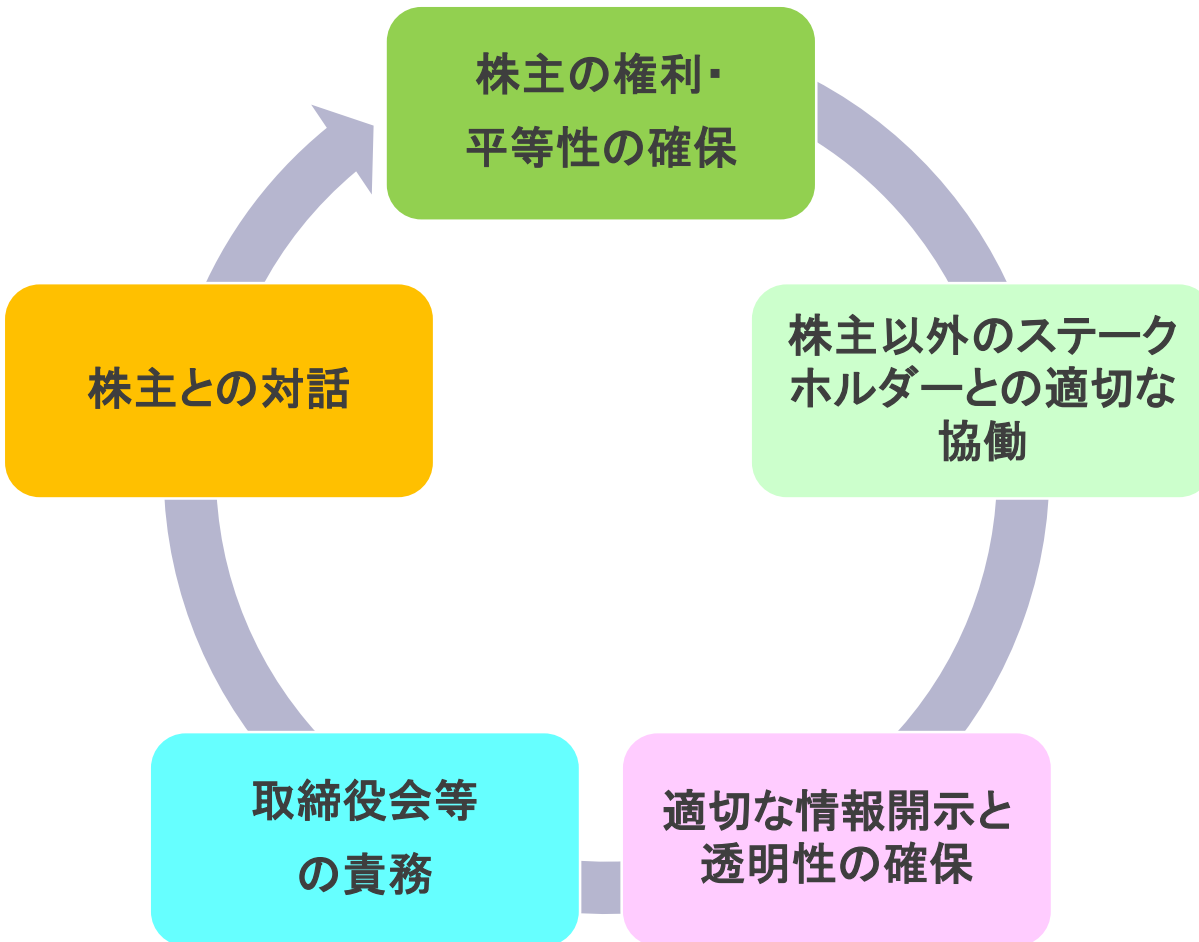
高精度

生産性

スマートファクトリー

コーポレートガバナンス・コード

当社はコーポレートガバナンス・コードを踏まえて、
企業価値の向上を目指してまいります。



1. 株主の権利・平等性の確保
 - ・英文開示の充実
 - ・招集通知の発送前電子開示
2. 株主以外のステークホルダーとの適切な協働
 - ・女性の活用を含む社内の多様性の確保
 - ・取引先・地域社会との絆
 - ・生き生きと働ける活力ある職場づくり
3. 適切な情報開示と透明性の確保
 - ・コーポレートガバナンス報告書等への開示
 - ・ホームページでの適切かつタイムリーな情報開示
4. 取締役会等の責務
 - ・取締役会の迅速な意思決定と業務の執行機能による経営のスピード化と責任の明確化
 - ・独立社外取締役の活用
5. 株主との対話
 - ・I R説明会開催、S R面談の随時対応